

富山県立高岡高等学校

令和3年度 必履修科目シラバス

		ページ	
国語	国語総合	2	
地理・歴史	世界史 A	3	
	日本史 A	4	
	地理 A	5	
	現代社会	6	
公民	現代社会	6	
数学	数学 I	7	
	物理基礎	8	
	化学基礎	9	
	生物基礎	10	
	地学基礎	11	
	保健体育	体育	12
		保健	13
芸術	音楽 I	14	
	美術 I	15	
	書道 I	16	
外国語	コミュニケーション英語 I	17	
家庭	家庭基礎	18	
情報	社会と情報	19・20	
	情報の科学	21	
	理数数学 I	22	
理数 (専門科目)	理数数学 II	23	
	理数物理	24	
	理数化学	25	
	理数生物	26	
	理数地学	27	
	課題研究	28	
	英語 (専門科目)	総合英語	29・30
異文化理解		31	

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合		1	5	国語総合 現代文編 国語総合 古典編 (東京書籍)	新国語総合ガイド 五訂版(京都書房) 完全マスター古典文法(第一学習社) 漢文必携 四訂版(桐原書店)他
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成する。 ・伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。 			
単元(「作品名」)		学習内容	到達度目標		
現代文	評論 「水の東西」 「映像文化の変貌」他	論理的な文章の展開や要旨を的確にとらえ、様々な問題についての考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学、社会科学、現代思想に関する文章を読み解く。 ・論理性に着目して文章を読み解く方法を学ぶことで、筆者の考えを的確につかむ。 ・今日的な課題について自分の考えを深める。 		
	小説 「羅生門」 「鏡」他	さまざまな小説の文体と構成の妙を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構造、展開、主題の把握など小説を読む基本的な方法を学んで内容を理解し、人間の心理に対する考えを深める。 ・登場人物の心の動きに注意して読み味わい、特徴ある表現をとらえる。 		
	随想 「蟬と日本語」	社会的事象への様々なものの見方や感じ方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現を文章に即して的確に理解し、筆者の思いをとらえる。 ・テーマについて、自分に照らし合わせて考察を深めることができる。 		
	表現編 ディベート 文章要約 他	言葉で表現することに意欲を持ち、効果的な表現を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を手本として、表現の有効な方法について学ぶ。 ・様々な話題について自分自身の観点で問題を見だし、論理的に考えをまとめることができる。 		
古文	古文入門 説話 「今昔物語集」 「発心集」	古文特有のリズムや歴史的仮名遣いに慣れ、内容を大まかにとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読して古文に慣れ、古文と現代文の違いを理解し、古文を読む基礎を学ぶ。 ・説話の展開や内容を理解して、その面白さをまとめる。 ・動詞の活用について理解する。 		
	物語 「竹取物語」 「伊勢物語」	成立した時代の社会相や、その時代に生きた人々の生活や思いについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の文体に慣れ、内容を理解する力を身につける。 ・用言の活用について基本事項を定着させ、助動詞について学ぶ。 ・物語の内容を理解し、そこに反映されている当時の社会や人々のあり様や心情をとらえる。 		
	日記 「土佐日記」	書き手みずからの思いや考えを記す日記文学を読み味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・日記に込められた書き手の思いを文章に即して深く読み味わう。 ・作者のものの見方・感じ方をとらえながら内容を正しく理解する。 		
	随筆 「徒然草」 「枕草子」	時代を超えて普遍的価値を有する作品の内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人間や自然に対する作者のものの見方をおさえる。 ・敬語の種類について学び、表現や文体の特徴と関連づけながら内容を理解する。 		
漢文	和歌・紀行 「万葉集」 「奥の細道」他	本格的な韻文に触れ、独特のリズムと言葉の響きを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・三大歌集の歌の内容を理解するとともに、修辞技法について理解する。 ・紀行文に描かれた旅の情景や作者の心情を読み味わうとともに、俳諧の世界を理解し、各句の背景を踏まえて鑑賞する。 		
	漢文入門 「故事」	訓読の基礎を学び、音読して漢文独特のリズムを体感する。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文とは何かを理解し、繰り返し音読して漢文独特の口調に慣れる。 ・訓点や書き下し文、基本構造、再読文字、助字、置き字について理解する。 ・語句や句形を理解して、示唆に富む内容を読み味わう。 		
	唐詩 「絶句」「律詩」	漢詩の基礎知識を学び、情感を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩・漢文の表現に込められた内容や情感を理解して鑑賞する。 ・近体詩の表現形式について理解する。 		
	史話 「管鮑之交」 「鶏口牛後」	史話の面白さに触れながら、基本句形を整理して理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人間や人間関係を生き生きと描いた史話の魅力を押さえるとともに、繰り返し音読して長文の漢文に慣れる。 ・正しく訓読し、語句や句形を確認しながら読解力を身につける。 		
思想・文章 「論語」「孟子」 「雑説」	中国古代思想や文章から、人間の生き方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を含む東アジア全体に多大な影響を与えた孔子や孟子のものの見方や考え方を学んで理解し、自分の考えを深める。 ・寓喩による論理構成の巧みさを理解する。 			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・世界史A	1	2	世界史A 新訂版 (実教出版)	<ul style="list-style-type: none"> ・最新世界史図説タペストリー (帝国書院) ・必須世界史用語 五訂版 (実教出版) ・高校生のためのふるさと富山 (富山県教育委員会)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界が歴史的に形成されていく過程を知り、各地域世界の特色を理解し、文化の多様性や複合性や相互交流を広い視野から考察して歴史的思考力を培うことをめざす。 ・適切な時間を確保し、主題設定学習を行う。 ・これらは国際社会に生きる日本人としての自覚を持つために、またその資質を備えるために不可欠である。 			
単元	学習内容	到達度目標		
産業革命と 植民地化	1：国民国家の 時代 2：植民地化か 独立か	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス革命，産業革命，フランス革命及びウィーン体制が近代資本主義や近代民主主義の成立・発展に及ぼした役割と，国民国家がどのように形成されたかを理解する。 ・城下町であった高岡が商工業都市として生まれ変わったことで，現在の高岡市が両方の性格をもつ歴史遺産都市であることを知る。 ・西欧近代が興した近代化の波に，イスラーム世界，南アジア，東アジアが，それぞれどのように対応したかという観点から，各地域世界の近代の様相，特色を理解する。 		
帝国主義の時代	1：国民国家から 帝国主義へ 2：世界分割と アジア・アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米列強における資本主義の変化を背景とする帝国主義の形成過程，及び具体的政策について考察・理解する。 ・列強の対外発展が，各国の勢力圏を奪い合う世界分割を志向し，アジア・アフリカがその標的となったことを考察する。 ・富山県が災害から人命や財産を守るために治水事業を推進したこと，それが県民の生活保全や産業の近代化，都市形成の基盤となり，今日の高岡市を形作っていることを学習する。 ・日露戦争勝利の陰に富山県出身の多くの兵士の犠牲があったこと，その後富山県の産業界も海外市場に向けた活動が展開されたことについて理解する。 		
二つの世界大戦	1：第一次 世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・世界分割の究極に，英独を対立軸とする二大陣営が形成され，緊張高まるバルカンから大戦が勃発し，総力戦の末，欧州の凋落等世界史上の大きな画期となったことを理解する。 ・富山での米騒動の経緯を知る。 		
冷戦から 新しい時代へ	2：つかの間の 平和 3：第二次 世界大戦 1：戦後世界の 形成	<ul style="list-style-type: none"> ・一次大戦後の平和構築の試みとその挫折について，ヴェルサイユ体制，1920年代の混乱から秩序への動き，民族運動の発展を通して考察する。 ・米騒動についての新聞報道が，他府民を刺激したこと，騒動の波及が内閣総辞職を招く原因となり，大衆社会の到来を印象づけたことを知る。 ・「もてる国」「もたざる国」の対立から二度目の大戦へと向かう経緯について，戦中から構想された戦後秩序の考察をまじえつつ理解する。 ・世界恐慌に対して，富山県や産業界がとった対応策を考察する。 ・戦後世界の形成過程を，第二次大戦の収束を振り返りつつ考察し，これまでの歴史的遺産の集積として形成された戦後世界にいかなる問題が起こっているのか理解し，解決のために何をすべきか考察する。 ・富山県の農地改革の影響・成果を理解する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・日本史A	2	3・2	日本史A 改訂版 (山川出版社)	<ul style="list-style-type: none"> ・新詳日本史 (浜島書店) ・新編史料日本史 (とうほう) ・五訂必携日本史用語 (実教出版)
科目の概要と目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
序章 近世社会の動揺と近代への胎動	3 日本をとりまく世界の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の動揺、崩壊と我が国の近代化の要因の生成過程について、欧米諸国の発展とアジアへの進出を背景に理解する。 		
第1章 開国と明治維新	1 アジアの激動と日本の開国 2 江戸幕府の滅亡 3 明治維新 4 富国強兵 5 初期の外交 6 殖産興業と文明開化	<ul style="list-style-type: none"> ・開国とその影響、明治政府による諸制度の改革、文明開化と殖産興業、明治初期の外交などに着目して、欧米文化の影響と近代化の推移を理解する。 		
第2章 立憲国家の成立	1 自由民権運動 2 立憲制の成立 3 立憲政治の展開 4 日清・日露戦争 5 産業革命と社会の変容 6 明治の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動の展開、立憲体制の成立、条約改正、日清・日露戦争とその前後の国際環境などに着目して、近代的立憲国家の成立と国際関係の推移を理解する。また資本主義の発展と社会問題の発生、地域社会の生活と文化などに着目して、産業革命の進行による近代産業の発展と国民生活の変化を理解する。 		
第3章 第一次世界大戦と日本	1 政党政治の展開 2 ワシントン体制 3 経済・社会の変容 4 市民文化	<ul style="list-style-type: none"> ・対外政策の推移、第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響などに着目して、国際社会と日本のかかわりを理解する。また政党の成長とその基盤、社会運動の活発化、大衆社会の成立と生活文化などに着目して、政治の動向及び文化の特色を理解する。 		
第4章 昭和の恐慌と満州事変	1 恐慌の時代 2 政党内閣期の内政と外交 3 軍部の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌による資本主義諸国の経済危機とブロック経済化、全体主義の台頭による国際関係の変化とベルサイユ体制の崩壊という動きに着目して、この間に我が国をめぐる内外情勢がどのように変動していったかを理解する。 		
第5章 第二次世界大戦と日本	1 日中戦争 2 重化学工業化と統制経済 3 第二次世界大戦と太平洋戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・国際間の対立、国内政治と経済の動揺、戦時体制の強化、アジア近隣諸国との関係などに着目して、第二次世界大戦と日本のかかわりを理解する。 		
第6章 占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> ・占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、生活意識や価値観の変化などに着目して、我が国の再出発と国民生活の変化を理解する。 		
第7章 経済繁栄と保守長期政権	1 55年体制 2 高度成長期の経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・東西関係の推移や我が国の国際社会への復帰、技術革新と経済の高度成長などに着目して、第二次世界大戦後の国際社会の動向と日本経済の復興、発展を理解する。 		
第8章 現代の世界と日本	1 冷戦の終結と日本 2 日本社会の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・経済や文化の国際的交流、科学技術の発展と世界の平和などに着目して、現代社会の動向と日本の課題及び役割を理解する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地歴・地理A	2	3・2	高等学校 新地理A (帝国書院) 地図帳 新詳高等地図 (帝国書院)	新編地理資料 2021 (とうほう)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な思考力を養い、地表面の地理的事象を理解することにより、人間活動の多様性・普遍性を学ぶ。 ・異文化理解を進め、国際的に生きる人間として必要とされる公民的資質を養う。 			
単元	学習内容	到達度目標		
1 地球儀や地図からとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・われわれが生活する空間を地球という規模から位置づける。縦と横のつながり(国境の種類、歴史的経緯)を理解する。 ・交通・通信、貿易、さらに資源・エネルギー、食料等限られた生産物の配分・利用などにおいて世界が一体化していく様子を理解する。 ・人口分布とその動態を理解することにより、世界における環境問題・人口問題を解決する糸口を探る態度を身につける。また、どのように地域が世界と結びつくべきかを考える探究的態度を持つ。 		
2 人間生活を取り巻く環境 3 世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活・文化と地形 ・人々の生活・文化と気候 ・日本の自然環境と防災 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形、気候を中心とした自然環境について学び、われわれの生活・文化がそれらに大いに影響を受けている状況を知る。また、自然環境からくる同質性・異質性についても考察できる。 ・学習の随所に含まれる関連する各地域の生活・文化に関することや地球的課題を、地形や気候という自然地理学的視点から理解する。 ・文献調査を中心に地域調査の方法を学ぶ。 ・身近な地域にも活断層が分布することを理解し、災害に対して高い意識で行動できるようになる。 		
4 地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の食料問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の食料生産・消費に偏りがあることを理解し、食料需給のバランスを保つための解決方法を考察する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・現代社会	1(普通) 2(人文・理数)	2	改訂版 現代社会 (数研出版)	最新図説 現社(浜島書店)
科目の概要と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎を培うとともに、自ら人間としての在り方生き方について考える力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育む。			
単元	学習内容	到達度目標		
第1編 現代の社会と人間	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題 資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命 高度情報化社会と生活 青年としてのあり方生き方 先人の生き方考え方 日本人としての自覚 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の様々な活動が自然環境への負荷を増大させ、環境汚染や破壊が問題となっていることを理解し、現代の世代のみならず、将来の世代のために主体的にどのように環境保全に取り組むかを考える。 持続可能な社会や循環型社会の形成のため、市民、消費者、事業者、自治体などさまざまな立場や観点があることを理解し、それぞれの立場からの取り組み方を考える。 科学技術の発展が社会生活の隅々まで浸透し、生命の在り方にまで影響が及んでいることを理解し、どのような課題が生じているか考える。 大衆化や少子高齢化など現代社会の特質と社会生活の変化について理解し、青年期の持つ意義や自己形成の課題について考える。 生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等、法と規範などについて考え、民主社会に生きるうえでの倫理について自覚を深める。 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方について考察する。 		
第2編 現代の政治と法	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の基本原則 日本国憲法と基本的人権 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治のあゆみを理解し、民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察する。 日本国憲法の基本原則について、国民生活との関わりから理解し、民主政治における個人と国家について考える。 日本国憲法における三権相互の関係や地方自治の現状と課題や、選挙の仕組み、日本の政治の課題を考える。 世界の主な国の政治や経済の動向を理解し、人権や国家主権、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、日本の安全保障と防衛、世界経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題などについて理解し、国際平和や国際協力の必要性及び国際組織の役割について考える。 		
第3編 現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> 経済社会の変容と現代の企業 市場機構と政府の役割 日本経済の進展と変化 豊かな生活と福祉の実現 国際経済の動向 国際経済の課題と国際協力 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解し、個人と企業の経済活動における社会的責任を考える。 公害や社会保障、雇用・労働問題など日本経済の課題について考える。 戦後の日本や世界の経済の流れや貿易、外国為替相場のしくみについて理解する。 発展途上国の現状や経済統合が進んでいる世界の現状を理解し、国際社会における日本の役割を考える。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 適宜課題探究活動を実施する。 			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学I	1	2	改訂版 数学I (数研出版)	改訂版 サクシード 数学I+A (数研出版)
科目の概要と目標	数と式, 図形と計量, 二次関数及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
数と式	式の計算 実数 一次不等式 集合と命題	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できる。また, 式を多面的にみたり処理したりするとともに, 一次不等式を事象の考察に活用できる。		
図形と計量	三角比 図形の計量	三角比の意味やその基本的な性質について理解し, 三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに, それらを事象の考察に活用できる。		
二次関数	二次関数とそのグラフ 二次関数の値の変化	二次関数とそのグラフについて理解し, 二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに, それらを事象の考察に活用できる。		
データの分析	データの散らばり データの相関	統計の基本的な考えを理解するとともに, それを用いてデータを整理・分析し, 傾向を把握できる。		
備考	適宜課題学習を実施する			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理基礎	2	2	改訂版 物理基礎 (数研出版)	実践アクセス総合物理 (浜島書店) フォトン物理図録 (数研出版)
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
物体の運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の表し方 ・様々な力とその働き ・力学的エネルギー ・物体の運動とエネルギーに関する探究活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。物体が直線運動する場合の加速度を理解する。 ・物体に働く様々な力について理解し、それらのつり合いについて理解する。 ・運動の三法則を理解する。 ・力学的エネルギーについて理解し、仕事と力学的エネルギーの関係を理解する。 ・物体の運動とエネルギーに関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、物理学的に探究する能力を高める。 		
様々な物理現象とエネルギーの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・熱 ・波 ・電気 ・エネルギーとその利用 ・物理学が拓く世界 ・様々な物理現象とエネルギーの利用に関する探究活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱運動の視点をもつこと。熱の移動および熱と仕事の変換について理解する。 ・波の性質を理解する。音波(弦の振動を含む)の性質を理解する。 ・物質によって抵抗率が異なることを理解する。交流の発生、送電および利用について、基本的な仕組みを理解する。 ・水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用について、物理学的な視点から理解する。 ・物理基礎で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結びついていることを理解する。 ・様々な物理現象とエネルギーの利用に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、物理学的に探究する能力を高める。 		
		備考 中学校理科との関連を考慮しながら、物理学の基本的な概念の形成を図るとともに、物理学的に探究する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成する。		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 化学基礎	1	2	改訂 化学基礎(東京書籍)	スクエア最新図説化学 (第一学習社) 改訂ニューステップアップ化学基礎 (東京書籍)
科目の概要 と目標	自然の事物・現象に関することを題材にして、基本的な概念、原理、法則を理解する。実験や観察を通して、科学的な自然観を身につける。物質をよく知るにより、現代社会をより広い視野で捉え、的確な判断を下すことができるようになる。			
単元	学習内容	到達度目標		
物質の構成	純物質と混合物 物質とその成分 物質の三態と熱運動	<ul style="list-style-type: none"> 純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 いろいろな物質について、単体と化合物に分類することができる。 気体分子の熱運動を視覚的に示すことができる。 		
物質の構成粒子	原子とその構造 イオン 周期表	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について説明できる。 原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいか判断できる。 周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づく。 		
粒子の結合	イオン結合 分子と共有結合 分子間にはたらく力 共有結合結晶 金属結合	<ul style="list-style-type: none"> イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式の組み立て方を表現できる。 さまざまな分子を電子式、構造式で表し、その構造を考えることができる。 極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から説明できる。 分子からなる物質、共有結合の結晶、高分子化合物の構造・粒子間にはたらく力とその性質の関係が理解できる。 金属の性質を自由電子の存在から説明できる。 		
物質質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質質量 化学反応式と物質質量	<ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 原子の相対質量をもとに、分子の質量を考えることができる。 モル質量の概念を使い、粒子数・質量と物質質量に関する計算ができる。 計算により濃度を求めることができる。 化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。 		
酸と塩基の反応	酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応 塩	<ul style="list-style-type: none"> 酸・塩基の性質を H^+ と OH^- で考える方法と、H^+ の授受で考える方法から酸と塩基を見きわめられる。 pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 中和滴定の実験により濃度未知の酸や塩基の濃度を求めることができる。 塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。 		
酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用ー電池・金属の製錬ー	<ul style="list-style-type: none"> 電子の授受が酸化還元の本質であることがわかる。 酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができる。 酸化還元の化学反応式を酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。 酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。 金属がイオンになる場合のなりやすさを実験から判断できるようになる。 金属の製錬は酸化還元反応を利用したものであることがわかる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 生物基礎	2	2	改訂 生物基礎 (東京書籍)	スクエア最新図説生物 n e o 九訂版 (第一学習社) 五訂版リードα生物基礎 (数研出版)
科目の概要 と目標	生物や生命現象についての観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し科学的な自然観を養う。また他の自然科学分野の知識と融合した総合的な自然観を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の備え持つ多様性と共通性を理解する。 全ての生物は様々な生命活動に ATP をエネルギーとして利用していることを理解する。 		
遺伝子とそ の はたらき	<ul style="list-style-type: none"> 生物と遺伝子 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成 	<ul style="list-style-type: none"> 1つ1つの細胞には DNA が存在する。遺伝情報は塩基配列のかたちで DNA に収められていることを理解する。 細胞が分裂するときには、全く同じ遺伝情報を持つ DNA が2つ作られ、それが2つの細胞に正確に分配されることを理解する。 DNA の遺伝情報は mRNA に写し取られた後、アミノ酸配列に置き換えられてタンパク質と成ることを理解する。 		
生物の体内環 境の維持	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境 体内環境を維持するしくみ 免疫 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓の働きにより体液は循環し、体内環境が保たれている。また、肝臓や腎臓は体液の成分を一定に保つはたらきをしていることを理解する。 体内環境は自律神経やホルモン系によって一定の範囲に保たれていることを理解する。 体内には病原体などの異物を認識し、排除することで体内環境を保つしくみがあることを理解する。 		
生物の多様性 と生態系	<ul style="list-style-type: none"> 植生の多様性と遷移 バイオームとその分布 生態系とその保全 	<ul style="list-style-type: none"> 地球上には森林や草原など、様々な植生が見られる。これらは長期的視点で見ると移り変わっていることを理解する。 気候や降水量の違いによって地球上にはさまざまなバイオームが存在することを理解する。 生態系では物質が循環するとともに、エネルギーが移動していることを理解する。また生態系のバランスは変動しているがその幅は一定の範囲内に保たれていることを理解する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・地学基礎	1	2	地学基礎改訂版(啓林館)	ニューステージ新地学図表(浜島書店) センサー地学基礎改訂版(啓林館)
科目の概要と目標	地学的な事象・現象についての観察、実験などを行い、自然に対して探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
固体地球とその変動	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球 ・活動する地球 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動する地球に関する探究活動を行い、その学習内容の理解を深め、地学的に探究する能力を高める ・プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。 ・火山活動と地震の発生のしくみについて理解する。 		
移り変わる地球	<ul style="list-style-type: none"> ・地球史の読み方 ・地球と生命の進化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。 ・古生物の変遷と地球環境の変化について理解する。 		
大気と海洋	<ul style="list-style-type: none"> ・大気構造 ・太陽放射と大気/海水の運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気構造と地球全体のエネルギー収支について理解する ・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解し、日本で見られる季節の気象について学ぶ。 		
宇宙の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系と太陽 ・恒星としての太陽の進化 ・銀河系と宇宙 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生と地球の形成について観察、実習などを通して探究し、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。 		
自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境 ・火山地震災害 ・気象災害 ・人間生活と環境変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の変化を科学的に考察する。 ・日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察する 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	1・2・3	7	現代高等保健体育 改訂版（大修館）	ステップアップ高校スポーツ（大修館）
科目の概要 と目標	<p>・各種の運動の合理的な実践を通じて運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p>			
学年	学習内容			
1年 男子	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・体づくり運動（青年体操・スポーツテスト含む） ・選択（陸上競技、器械運動、ダンスより1種目選択） ・選択（サッカー、バレーボール、バスケットボール、柔道、剣道より2種目選択） 			
女子	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・体づくり運動（スポーツテスト含む） ・選択（陸上競技、器械運動、ダンスより1種目選択） ・選択（バレーボール、バスケットボール、バドミントン、柔道、剣道より2種目選択） 			
2年 男子	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・体づくり運動（青年体操・スポーツテスト含む） ・陸上競技 ・武道（※学校選択 1年次に選択した柔道・剣道を継続） ・選択（サッカー、バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトボールより1種目を選択） 			
女子	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・体づくり運動 ・陸上競技（スポーツテスト含む） ・ダンス（※学校選択） ・選択（ソフトボール、バスケットボール、ハンドボール、卓球、バドミントンより1種目を選択） 			
3年 男女	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・体づくり運動（スポーツテスト含む） ・選択（陸上競技、器械運動、ダンスより1種目選択） ・選択（ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、テニス、卓球、バドミントンより1種目を選択） 			
評価の観点	学習の方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み状況 ・実技テスト ・学習ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科は1クラスまたは2クラス合同で、理数科学科・人文社会科学科は2クラス合同で男女別に行う。なお、選択授業・3年フォークダンスにおいては、男女合同で行う場合がある。 ・武道は、柔道・剣道に分かれて行う。 ・学習内容ごとに実技テストを行い評価する。 ・選択授業では学習ノートを作成し実技評価に加えて評価する。 ・学習順が、学期により変更される場合がある。 ・上記の内容を精選して学習することがある。 			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	1・2	2	現代高等保健体育 改訂版（大修館）	図説現代高等保健 改訂版（大修館） プリントほか
科目の概要 と目標	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
単元	学習内容			
1年 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの健康のすがた ・ 健康と意思決定・行動選択 ・ 生活習慣病とその予防 ・ 運動と健康 ・ 喫煙と健康 ・ 薬物乱用と健康 ・ 感染症の予防 ・ 欲求と適応機制 ・ ストレスへの対処 ・ 交通事故の現状と要因 ・ 安全な交通社会づくり ・ 心肺蘇生法 ・ 健康のとらえ方 ・ 健康に関する環境づくり ・ 食事と健康 ・ 休養、睡眠と健康 ・ 飲酒と健康 ・ 現代の感染症 ・ 性感染症、エイズとその予防 ・ 心身の相関とストレス ・ 心の健康と自己実現 ・ 交通社会における運転者の資質と責任 ・ 応急手当の意義とその基本 ・ 日常的な応急手当 			
2年 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期と健康 ・ 妊娠・出産と健康 ・ 高齢者のための社会的とりくみ ・ 医療制度とその活用 ・ 性意識と性行動の選択 ・ 家族計画と人工妊娠中絶 ・ 医薬品と健康 ・ 結婚生活と健康 ・ 加齢と健康 ・ 保健制度とその活用 ・ さまざまな保健活動と対策 			
社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染と健康 ・ 健康被害の防止と環境対策 ・ 食品衛生活動のしくみと働き ・ 働くことと健康 ・ 水質汚濁、土壌汚染と健康 ・ 環境衛生活動のしくみと働き ・ 食品と環境の保健と私たち ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活 			
評価の観点	学習の方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席、授業への取り組み状況 ・ 定期考査 ・ 提出物（課題、レポート等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオやPC等を取り入れて学習することがある。 ・ グループ学習を行う場合がある。 ・ 学習順が、学期により変更される場合がある。 ・ 上記内容の全てではなく、内容を精選して学習することがある。 			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽 I	1	2	高校生の音楽 1 (教育芸術社)	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社)
科目の概要 と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
題材	学習内容	到達度目標		
声の魅力を探究しよう 曲想を生かした歌い方	発声の方法を学び、楽曲の曲想を生かした歌い方を工夫する。(歌唱表現)	歌う活動に関心を持ち、楽曲の内容を主体的に表現できる。楽曲に込められた気持ちを感じ取り、工夫して曲想を表現できる。音楽の諸要素のはたらきに留意し、曲想に適した発声で表現できる。発声や音楽的な表現の仕方を自分の歌い方に取り入れて歌うことができる。視唱力・読譜力・ソルフェージュ力の向上を図る。		
各時代の音楽 (鑑賞)	音楽史の各時代の特徴を理解し、それぞれの時代の音楽のよさを味わう。	各時代の音楽に関心を持ち、意欲的にそのよさを味わうことができる。各時代の音楽の特徴を理解することができる。各時代の時代背景を理解しながら聴くことができる。		
リズムアンサンブル (創作)	リズムアンサンブルや即興的なリズム表現の楽しさを味わう。	リズムアンサンブルの活動に意欲的に取り組むことができる。リズムの組み合わせの面白さ、表現の豊かさを感じながら聴いたり表現したりできる。楽曲の面白さを表現するために、声の音色や高低等を工夫することができる。		
リコーダー・ギターアンサンブル (器楽)	アルトリコーダーやギターを通して、アンサンブルの良さを味わう。	基本的なアルトリコーダーやギターの演奏技能を身につけることができる。リコーダーやギターのアンサンブルに意欲的に取り組み、その良さを味わうことができる。フレーズの表情や構成的な音楽表現に留意して演奏することができる。視奏力・読譜力の向上を図る。		
日本歌曲に親しむ (歌唱)	日本歌曲の斉唱や合唱を通して、美しい日本の原風景を表現した曲のよさを味わう。	日本歌曲の歌唱活動に関心を持ち、楽曲の内容を主体的に表現できる。歌詞の意味を情感豊かに表現できるよう、歌い方を工夫することができる。息の使い方や共鳴のさせ方等の基本的な発声の技能を生かした歌い方ができる。		
外国歌曲に親しむ (歌唱表現)	イタリア語やドイツ語による歌曲の独唱を通して、原語による歌唱の良さを味わう。独唱発表会	イタリア語やドイツ語の歌曲に関心をもって意欲的に歌うことができる。範唱を聴いて、発音や発声の仕方、フレージング等を参考にして自分の表現に取り入れることができる。歌詞の内容や曲想を感じ取り、楽曲分析することで曲想にふさわしい発音や発声を工夫して歌うことができる。		
創作	簡単な旋律をつくり、和音伴奏をつける活動を通して、作曲の楽しさを味わう。	創作活動(旋律作曲、編曲、グループ創作)に意欲的に取り組み、イメージを持って音楽をつくることができる。和音の役割や和音進行を理解して創作活動を行うことができる。曲の構成に配慮しながら変化に富んだ曲想を工夫することができる。記譜法を学び、記録の方法を工夫する。		
郷土の伝統音楽	わが国の伝統音楽のよさにふれる。	わが国の伝統音楽に興味をもって聴いたり歌ったりできる。わが国の伝統音楽の特徴を味わいながら聴いたり歌ったりできる。わが国の伝統音楽の歴史的背景や特徴を理解して鑑賞することができる。		
世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の音楽の特徴を理解し、そのよさにふれる。	世界の諸民族の音楽に関心をもって意欲的に聴いたり歌ったりできる。世界各地域の音楽の特徴を理解し、その雰囲気味わうことができる。世界各地域の風土と音楽との関わりを理解して鑑賞することができる。		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術 I	1	2	高校生の美術 1 (日本文教出版)	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作や鑑賞を通して感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ・身近なものや自己を深く見つめ、発見したことや感じたことを心豊かに表現することができる。 ・中学校の学習で身につけた基本的なデッサン力、色彩・構図に関する知識、材料や用具の適切な使い方等の技能をさらに伸ばし、意図に応じて多様な表現方法の工夫ができる。 			
単元	学習内容	到達度目標		
(絵画・鑑賞) オリエンテーション	中学校までの学習内容と絵画表現における基礎的事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・構図の基本的な考え方が理解できる。 ・作品を制作した作家のねらいや時代背景に興味・関心を持つことができる。 		
(絵画・彫刻) － スケッチ －	観察による表現 (スケッチ)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆をナイフで削ることができる。 ・鉛筆を用いてモチーフを短時間で表現することができる。 		
－ デッサン －	観察による表現 (鉛筆デッサン)	<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフの構造を理解し、正確に形を把握することができる。 ・モチーフを面でとらえ、明暗を表現して立体感が表現できる。 		
(絵画) － 静物画 － 油彩による静物画	観察による表現 (油彩画の制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・画面構成を工夫して、構図を考えることができる。 ・油絵の具の特徴、乾燥と酸化の違い、油絵の道具の使い方について理解できる。 ・油絵の具の特徴を生かし、画面全体を意識して描くことができる。 ・モチーフの色彩、陰影、質感をとらえて制作することができる。 		
(絵画・鑑賞)	油彩画の鑑賞 (生徒作品)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法を認め、作者の思いに共感することができる。 		
(鑑賞・デザイン) － パッケージデザイン －	参考作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージの機能や働きについて考え、理解できる。 		
(デザイン) － パッケージデザイン －	構想による表現 (アイデアスケッチ)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の目的や美しさの調和を考え構想を練り主体的に制作することができる。 ・中に入れるものから想像力を働かせ、作品の目的や美しさの調和を考え、主体的に制作することができる。 		
(デザイン) － パッケージデザイン －	デザインによる表現 (制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に応じて材料の特性を生かし、計画や手順を吟味して制作することができる。 		
(デザイン・鑑賞)	作品鑑賞 (生徒作品)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から作者の意図と表現の工夫を感じ取り、作品が使用される場所や目的との関係、機能や工夫などについて多面的に理解を深めることができる。 		
(絵画) － 心象画 － 油絵による心の自画像	構想による表現 (油彩画制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・目に見える世界だけが現実ではなく、心の中にある世界もまた真実であるということに気づき、描いていくことができる。 ・画肌 (マチエール) の作り方や筆触 (タッチ) について理解し、表現が工夫できる。 		
(絵画・鑑賞)	油彩画の鑑賞 (生徒作品)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法を認め、作者の思いに共感することができる。 		
(鑑賞) － 美術館に行こう －	鑑賞 (高岡市美術館)	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市美術館で直接作品に触れることによって、感性を高める。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道Ⅰ	1	2	書Ⅰ(光村図書)	プリント教材、鑑賞教材
科目の概要と目標	書道史鑑賞・表現の学習方法により、書道の基礎知識および基本技術を習得させる。創作の学習を通じて自ら工夫する表現の喜びを体験させ、書を愛好する態度を養う。また、伝統的表現形式等、書の周辺文化を紹介する。			
単元	学習内容	到達度目標		
初エンターション	書の芸術性について	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術科書道の目標を認識する。 ・文房四宝、姿勢執筆法について知る。 		
漢字の書 楷書の学習 行書の学習 篆書の学習 隷書の学習 草書の学習 創作の学習	書体の変遷 漢字の鑑賞と表現(臨書) 孔子廟堂碑 九成宮禮泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛闢造像記 蘭亭序 泰山刻石 曹全碑 真草千字文 漢字の書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書体の変遷を学ぶ。 唐代楷書の完成、四大家について知り、さまざまな楷書の書風と表現を学ぶ。 ・北魏書の魅力、方筆と円筆の表現を学ぶ。 ・行書の基本用筆を学び、書聖王羲之について知る。平安の三筆、三蹟について知る。 ・篆書の基本用筆を学ぶ。 ・隷書の基本用筆を学ぶ。 ・草書の基本用筆を学ぶ ・倣書により、古典の特色や技術を応用して創作的に表現する。 ・作品鑑賞し、表現の要素を把握する。 ・題材を考える。イメージ化する。 ・構成、大小の変化、墨色、用具用材の工夫等を考えて表現の工夫をする。 ・互評会にて、自作について説明し合ったり、他者の意図を聞いたりする。 		
漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞する。 ・題材を考えて、言葉と表現の関連を図りイメージ化する。 ・古典の書風(楷書・行書)を取り入れて、表現の工夫をする。 ・漢字に合う仮名(ひらがな・カタカナ)を考える。 ・用具用材・紙面構成を工夫する 		
仮名の書	仮名の成立・鑑賞 単体、連綿、散らし書き	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名、片仮名、変体仮名等の成立について知る。 ・古筆の鑑賞をし、仮名の美を味わう。 ・仮名の基本運動、単体が仮名らしい線で書ける。 ・仮名の初歩的古典を臨書する。 ・基本的な連綿ができるようになる。 ・創作(散らし書き)を書けるようにする。 		
篆刻	姓名印の制作	作品用の姓名印を制作する。		
生活の中の書	硬筆 表装ほか	各種書式にあった表現をする 簡易な表装を学ぶ。 生活の中の書に目を向ける。		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材(副教材)
外国語 コミュニケーション英語 I	1	3	NEW EDITION UNICORN English Communication I (文英堂)	教科書準拠ワークブック 教科書準拠予習ノート
科目の概要と 目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			
単 元	学 習 内 容 ・ 到 達 度 目 標			
LESSON 1 I am a Photojournalist	<ul style="list-style-type: none"> エッセイを読み、筆者がどのような人であるのかを理解し、簡潔に紹介できる。 エッセイの中で筆者が重要だと考えていることを読み取り、簡潔に説明できる。 自分自身や考え、願望について、簡潔に伝えることができる。 進行形/助動詞/to 不定詞を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 2 Holmes and Watson	<ul style="list-style-type: none"> ある主題に関する文章を読み、重要な点を理解し、簡潔に説明できる。 ある主題に関する文章の中で、説明のためのエピソードや具体例を特定できる。 ある主題について、説明のためのエピソードや具体例を加えながら発表ができる。 現在完了(進行)形/受動態/文の構造を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 3 Alma Rosé	<ul style="list-style-type: none"> ある人物の生涯に関する文章を読み、その人物やそのまわりに起きたできごとの概要を理解し、書くことができる。 時間順に書かれた文章を読み、できごとと時代背景の関係を理解し説明できる。 ある文章を読み、登場人物相互の関係を理解し説明できる。 It is~to do, S+V+O+to do/分詞の形容詞的用法/動名詞を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 4 Forests for the Future	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に関する文章を読み、それがどのような問題なのか、なぜその問題が発生したのか、どのような解決策があるのかを理解し、説明できる。 過去と現在が対比的に述べられた文章を読み、何がどう変わってきたのかを理解し、説明できる。 環境問題についての発表を聞いて、重要な点を把握し、質問ができる。 関係代名詞/関係代名詞 what/関係副詞を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 5 Methane Hydrate	<ul style="list-style-type: none"> 賛否両論のある主題に関する説明を読み、双方の論点を特定し、簡潔に説明できる。 ある文章を読み、原因と理由、結果を特定することができる。 自分の持っている知識を用いて、問題と可能な解決法について話すことができる。 S+V(+O)+O(=疑問詞+to 不定詞)/S+V(+O)+O(=if[whether]節, 疑問節)/S+V(=be)+C(疑問詞+to 不定詞)を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 6 El Sistema: The Miracle of Music	<ul style="list-style-type: none"> ある組織とそれに関係する人物について書かれた文章を読み、それらの活動・人物について、どのようなもの・人であるのかを説明できる。 述べられている人物の行動や状況をもたらした理由やきっかけを理解し、説明できる。 関心のある組織や活動について説明し、自分の考えるその活動の意義を説明することができる。 過去完了(進行)形/S+V+O+C(=現在分詞, 過去分詞)/S+V+O+C(=原形不定詞)を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 7 Why Are You Sleepy?	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題に関するやや抽象的な内容の説明文を読み、内容の概要を理解し、説明できる。 図表を伴う文章を読み、両者を関連付けながら理解し、図表が何を表しているのか説明できる。 図表を使いながら行われた短い発表を聞いて、主旨を理解でき、自分の意見を発表できる。 仮定法過去/It is+名詞[形容詞]+that 節/助動詞+have+過去分詞を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 8 Haruki Murakami Abroad	<ul style="list-style-type: none"> 有名な人物についての記事を読み、事実だけでなく、筆者の見解について理解することができる。 有名な人物についての記事を読み、その人となりを理解することができる。 読んだ本、見たテレビや映画などについて評価をし、発表できる。 本やテレビ番組、映画などについての発表を聞いて、理解し、自分の意見を述べることができる。 前置詞+関係代名詞/分詞構文(現在分詞)/関係代名詞の非制限的用法を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 9 Vertical Farming	<ul style="list-style-type: none"> なじみのない主題についての説明文を読み、内容の概要を理解し、説明できる。 文章の中で述べられている問題点と解決策を特定し、まとめることができる。 文章の中で出てくる具体的な数値が何の数・量・値であるのかを理解し、まとめることができる。 未来完了形/if 節のない仮定法など/仮定法過去完了を理解し、文を作ることができる。 			
LESSON 10 Words and You	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題について筆者の個人的な考えを述べた英文を読み、筆者の経験とそれに対する筆者の考えとを区別することができる。 文章の中で筆者の過去と現在の心情の違いを説明できる。 人間関係とコミュニケーションについて、自分の経験を基に考えをまとめ、発表ができる。 完了形の受動態/進行形の受動態/関係副詞の非制限的用法を理解し、文を作ることができる。 			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭基礎	1	2	新家庭基礎 2 1 (実教出版)	2021 生活学 Navi 資料+成分表 (実教出版)
科目の概要と目標	<p>1. 人の一生と家族・福祉、食生活、消費生活などについて学ぶ中で、基礎的・基本的な知識・技術を習得する。</p> <p>2. 国際化、情報化が進展し、生活様式の多様化が進む現代社会において、男女がともに主体的に生活を営み、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育成する。</p>			
単元	学習内容		到達度目標	
青年期を生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題と意思決定 ・男女の平等と相互の協力 ・仕事と生活の調和をめざして 		<ul style="list-style-type: none"> ・青年期は、自分の存在や生き方を考え、アイデンティティを確立する時期であることを認識する。 ・男女平等、男女共同参画に向けての基本的な理解をはかる。 	
「自立する」とは	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの生き方をデザインする ・青年期の自立 ・よりよい人間関係を築く 		<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題を理解し、自立に向けての目的意識を持つ。 ・「四つの自立」の必要性について理解する。 	
楽しく安全に食べる	<ul style="list-style-type: none"> ・からだと心の健康を作る食生活 ・栄養素の働きと食品の特質 ・食事作りのポイント ・食の安全を守る 		<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。 ・健康で安全な食生活を支える上での課題を探る。 	
選んで着る	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の役割を考える ・衣服は何でできているか ・洗濯、手入れ ・これからの衣服と持続可能な衣生活 		<ul style="list-style-type: none"> ・健康で快適な衣生活を営むために必要な被服材料、被服管理などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。 ・環境負荷の少ない購入・管理・消費についての問題意識を持つ。 	
人間らしく住む	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい選びの視点 ・健康で安全な住まい ・環境に配慮した住まい、住み方 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全で環境に配慮した住生活を理解し、今後の課題を探る。 ・住まいの改善、地域での住み方について考える。 	
消費社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化、グローバル化の中での消費生活 ・自立した生活に必要なお金の管理 ・消費者問題と消費者の権利 ・環境と公正を考えた消費 		<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状や家庭経済と社会の関わりを理解し、消費者として主体的に判断し行動できる力をつける。 ・環境に配慮した消費生活について自ら考え、公正な判断力をつける。 	
多様化した社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・家族をめぐる課題 ・家族をめぐる法律 ・ライフキャリアをつくる 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化と家族の現状と課題について理解する。 ・家族や家庭生活のあり方、男女の平等と多様な人々との共生を理解する。 ・自立の基礎となる職業や家事労働について理解し、将来の生活設計に活かせる判断力を養う。 	
子どもと生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と発達 ・子どもが育つ環境 ・親になるということ 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活や発達と、それを支えるために必要な家族及び地域・社会の果たす役割について理解する。 ・子どもをとりまく環境や子育ての現状・課題について考え、解決法を探る。 	
支え合い共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合いのしくみ ・高齢者を支えるしくみ ・貧困とそれを支えるしくみの現状 ・障がい者の現状と支えるしくみ ・福祉のあり方 		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者の特徴と生活を理解し、自立した生活を支えるために社会等が果たす役割を学ぶ。 ・高齢社会、貧困や障がいなどの課題から、福祉のあり方や共生社会について理解する。 	
学習を生かす	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト活動 ・学校家庭クラブ活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活や地域の生活の課題を意識し、その改善法を考え、実践する。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
情報・社会と情報	1	2	新・社会と情報(日本文教出版)	実習プリント
科目の概要と目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的なコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
情報の活用と表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報とメディアの特徴 情報のデジタル化 情報の表現と伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。 情報のデジタル化の基本的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。 情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。 		
情報通信ネットワークとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション手段の発達 情報通信ネットワークの仕組み 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。 情報通信ネットワークの仕組みと情報セキュリティーを確保するための方法を理解させる。 情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の通信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。 		
情報社会の課題と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> 情報化が社会に及ぼす影響と課題 情報セキュリティーの確保 情報社会における法と個人の責任 	<ul style="list-style-type: none"> 情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。 個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティーポリシーの策定など、情報セキュリティーを高めるための様々な方法を理解させる。 多くの情報が公開され流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。 		
望ましい情報社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 社会における情報システム 情報システムと人間 情報社会における問題の解決 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と及ぼす影響を理解させる。 人間にとって利用しやすい情報システムの在り方、情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考えさせる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を習得させる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
情報・社会と情報	2	2	新・社会と情報(日本文教出版)	最新情報トピックス集2021 (日本文教出版)
科目の概要と目標	<p>情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。 メディアの特性を踏まえ、情報を適切に収集・処理し、信憑性を判断した上で、責任をもって発信する能力を育てる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに他者と協働して問題を解決する能力を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
情報の活用と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とメディアの特徴 ・情報のデジタル化 ・情報の表現と伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。 ・情報のデジタル化の基本的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。 ・情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。 		
情報通信ネットワークとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の発達 ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。 ・情報通信ネットワークの仕組みと情報セキュリティーを確保するための方法を理解させる。 ・情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の通信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。 		
情報社会の課題と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化が社会に及ぼす影響と課題 ・情報セキュリティーの確保 ・情報社会における法と個人の責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。 ・個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティーポリシーの策定など、情報セキュリティーを高めるための様々な方法を理解させる。 ・多くの情報が公開され流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。 		
望ましい情報社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における情報システム ・情報システムと人間 ・情報社会における問題の解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と及ぼす影響を理解させる。 ・人間にとって利用しやすい情報システムの在り方、情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考えさせる。 ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を習得させる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
情報・情報の科学	2	2	新・情報の科学(日本文教出版)	情報最新トピックス集2021 (日本文教出版)
科目の概要と目標	<p>情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能を習得させる。</p> <p>情報機器や情報通信ネットワークに関する基礎的な知識や技能の習得を通して、問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を育てる。</p> <p>情報社会の発展に積極的に寄与する能力と態度を身につけ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
コンピュータによる情報の処理と表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表し方 コンピュータでのデジタル表現 コンピュータの仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ビットと情報量について理解させる。 情報のデジタル化の基本的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。 コンピュータのハードウェアやソフトウェアについて理解させる。 コンピュータの動作や計算の仕組みについて理解させる。 		
ネットワークがつなぐコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインコミュニティの特性について理解させる。 ネットワークを利用して情報を共有・収集する方法について理解させる。 情報通信ネットワークの基本的な構成と動作の仕組みを理解させる。 		
情報システムが支える社会	<ul style="list-style-type: none"> 情報化による生活の変化 情報システムと情報セキュリティ 情報社会における法律 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と及ぼす影響を理解させる。 情報システムの特徴を知り、情報セキュリティを確保するための方法を理解させる。 個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など、情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。 情報社会に関連する法律の目的や内容について理解させる。 		
問題の解決と処理手順の自動化	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズム 問題解決 モデル化とシミュレーション データベース 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なアルゴリズムの構造やモデル化の概念や注意点を理解させる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を習得させる。 モデル化された問題をシミュレーションを用いて解決する方法を習得させる。 データベースの概念と役割について理解させる。 		
情報通信ネットワークと問題解決	<ul style="list-style-type: none"> グループで行う問題解決 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークを活用して様々な意見を集約し、人間にとって利用しやすい情報システムの在り方をグループで考えさせる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理数・ 理数数学 I	1	4	改訂版 数学 I (数研出版) 改訂版 数学 A (数研出版) 改訂版 数学 II (数研出版)	改訂版 サクシード 数学 I + A (数研出版) 改訂版 サクシード 数学 II + B (数研出版)
科目の概要と 目標	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を系統的に理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを的確に活用する態度を育てる。</p>			
単 元	学 習 内 容		到 達 度 目 標	
数と式	式の計算 実数 一次不等式 集合と命題		数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できる。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できる。	
図形と計量	三角比 図形の計量		三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できる。	
二次関数	二次関数とそのグラフ 二次関数の値の変化		二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できる。	
指数関数・ 対数関数	指数関数 対数関数		指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できる。	
データの分析	データの散らばり データの相関		統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できる。	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理数・ 理数数学Ⅱ	2・3	11	2年：改訂版 数学Ⅱ (数研出版) 改訂版 数学B (数研出版) 改訂版 数学Ⅲ (数研出版) 3年：改訂版 数学Ⅲ (数研出版)	2年：改訂版 サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版) 改訂版 サクシード 数学Ⅲ (数研出版) 3年：改訂版 サクシード 数学Ⅲ (数研出版)
科目の概要 と目標	数学における概念や原理・法則についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
いろいろな式	式と証明 高次方程式	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できる。また、方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。		
数列	数列とその和 漸化式と数学的帰納法	簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できる。		
三角関数と複素数平面	角の拡張 三角関数 三角関数の加法定理 複素数平面	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できる。 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解し、それらを事象の考察に活用することができる。		
図形と方程式	直線と円 軌跡と領域 平面上の曲線	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できる。		
極限	数列とその極限 関数とその極限	数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できる。		
微分法	微分の考え 導関数 導関数の応用	微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できる。		
積分法	積分の考え 不定積分と定積分 積分の応用	積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できる。		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理数・ 理数物理	2・3	8	【2年】 改訂版物理基礎(数研出版) 改訂版総合物理1(数研出版) 改訂版総合物理2(数研出版) 【3年】 改訂版総合物理1(数研出版) 改訂版総合物理2(数研出版)	センター総合物理(啓林館 3年) アケヒ総合物理(実教出版 2年) フォトサイエンス物理図録(数研出版)
科目の概要 と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 物理的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
物体の運動 とエネルギー	・運動の表し方 ・様々な力とその働き ・力学的エネルギー	・物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。物体が直線運動する場合の加速度を理解する。 ・物体に働く様々な力について理解し、それらのつり合いについて理解する。 ・運動の三法則を理解する。 ・力学的エネルギーについて理解し、仕事と力学的エネルギーの関係を理解する。		
様々な物理 現象とエネ ルギーの利 用	・熱 ・波 ・電気 ・エネルギーとその利用 ・物理学が拓く世界	・熱運動の視点をもつこと。熱の移動および熱と仕事の変換について理解する。 ・波の性質を理解する。音波(弦の振動を含む)の性質を理解する。 ・物質によって抵抗率が異なることを理解する。交流の発生、送電および利用について、基本的な仕組みを理解する。 ・水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用について、物理学的な視点から理解する。 ・学んだ物理現象が、日常生活やそれを支えている科学技術と結びついていることを理解する。		
様々な運動	・剛体のつりあい ・運動量 ・円運動 ・万有引力 ・気体分子運動	・運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方にに基づき、物体の運動を観察、実験などを通して探究し、力と運動に関する概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを活用できる力を身につける。		
波	・波の伝わり方 ・音 ・光	・水面波、音、光などの波動現象を観察、実験などを通して探究し、共通する基本的な概念や法則を系統的に理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できる力を身につける。		
電気と磁気	・電場 ・電流と磁場 ・電磁誘導	・電気や磁気に関する現象を観察、実験などを通して探究し、電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を系統的に理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できる力を身につける。		
原子	・電子と光 ・原子と原子核	・電子、原子および原子核に関する現象を観察、実験などを通して探究し、原子についての基本的な概念や原理・法則を理解する。		
		備考 中学校理科との関連を考慮しながら、物理学の基本的な概念の形成を図るとともに、物理学的に探究する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成する。		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理数・ 理数化学	2・3	7	改訂版 化学基礎 (数研出版) 化学 新訂版 (実教出版)	スクエア最新図説化学 (第一学習社) 改訂ニューステップアップ 化学基礎 (東京書籍) 改訂ニューステップアップ 化学 (東京書籍)
科目の概要 と目標	化学的な事物・現象について観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的自然観を育成することを目標とする。			
単元	学習内容	到達度目標		
化学と人間 生活	化学とその役割	<ul style="list-style-type: none"> 化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に人間生活に果たしている役割を理解する。 		
物質の構成	物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな物質について、単体と化合物に分類することができる。 物質の三態変化を粒子の熱運動と粒子間にはたらく力で説明できる。 原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の関係について説明できる。 周期表の中に周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づく。 様々な分子を電子式、構造式で表し、その構造を考えることができる。 極性を電気陰性度による電荷のかたよりと分子の形から説明できる。 各化学結合の特徴と結晶の性質との関係を理解する。 		
物質の変化	物質と化学反応 酸と塩基の反応 酸化還元反応 化学反応とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量の定義を理解し、物質の概念を使い、粒子数・質量と物質に関する計算ができる。 化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。 酸・塩基の定義を理解する。 pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 中和滴定の実験により濃度未知の酸や塩基の濃度を求めることができる。 酸化・還元反応の定義、酸化数のつけ方を理解する。 イオン化傾向とは何かを理解し、金属単体の性質との関係を理解する。 電池の正極、負極、電気分解の陽極、陰極での反応を理解する。 ファラデーの法則を理解し、電気分解の量的関係を理解する。 熱化学方程式の作り方を習得し、ヘスの法則を理解する。 		
物質の状態 と化学平衡	気体の性質 固体の構造 溶液 反応の速さとしくみ 化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> 気体の体積と圧力や温度との関係を理解し、気体状態方程式を使って計算することができる。 理想気体と実在気体の違いを理解できる。 結晶格子の概念および結晶の構造について理解し、金属結晶構造を立体的に把握することができる。 溶液の性質の法則性を理解し、計算することができる。 コロイドとは何かを知り、コロイド溶液に関する事象についての知識を身につける。 反応速度の表し方、反応速度に影響を与える要因を理解する。また、その要因を活性化エネルギーにより、考察することができる。 化学平衡の概念を理解する。 外部条件による平衡の移動を考察することができる。 平衡定数を使って、電離平衡、溶解度積などの計算をすることができる。 		
無機物質の 性質と利用	非金属元素 典型金属元素 遷移金属元素 金属イオンの定性分析	<ul style="list-style-type: none"> 水素、貴ガス、ハロゲン、酸素・硫黄、窒素・リン、炭素・ケイ素の単体や化合物の性質と反応、製法や用途を理解する。 アルカリ金属、アルカリ土類金属、アルミニウムと亜鉛、スズと鉛の単体や化合物の性質と反応、製法や用途を理解する。 鉄、銅、銀、マンガン、クロムの単体や化合物の性質と反応、製法や用途を理解する。 金属イオンと陰イオンの沈殿反応を特徴的にとらえ、これらの反応の応用として、金属イオンを分離、確認することができる。 		
有機化合物 の性質と利 用	特徴と構造 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物 芳香族化合物 有機化合物の分離	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物を構成する元素の確認方法を理解する。 元素分析により、組成式を決定し、分子量から分子式を決定できる。 アルカンとシクロアルカン、アルケンとアルキンの名称、製法、構造、性質、反応および構造異性体、幾何異性体について理解する。 アルコールとエーテル、アルデヒドとケトン、カルボン酸とエステル、油脂とセッケンの定義、名称、分類、製法、性質、反応などを理解する。 各芳香族化合物の性質と生活との関係を理解し、化合物間のつながりを確認する。 官能基の性質の違いを利用して、有機化合物の混合物から各成分を抽出によって、分類することができる。 		
高分子化合物 の性質と利 用	高分子化合物 合成高分子化合物 天然高分子化合物 高分子化合物と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 高分子化合物の特徴と構造、重合のしかたを理解する。 合成高分子化合物の原料と合成法について理解し、その構造と性質との関連性を考察できる。 天然高分子化合物の構造や化学的性質について理解し、生体内におけるはたらきを知る。 高分子化合物の性質や反応性について、人間生活に関連させて理解する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理数・ 理数生物	2・3	8	改定 生物基礎 (東京書籍) 改訂版 生物 (数研出版)	スクエア最新図説生物 neo 八・九訂版 (第一学習社) 五訂版リードα 生物基礎 (数研出版) 四訂版リードα 生物 (数研出版)
科目の概要 と目標	生物や生命現象についての観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し科学的な自然観を養う。また他の自然科学分野の知識と融合した総合的な自然観を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
生物の特徴 (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性・共通性 生命活動とエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の備え持つ多様性と共通性を理解する。 生物は ATP をエネルギーとして利用していることを理解する 		
遺伝子とそ のはたらき (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> 生物と遺伝子 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報は塩基配列として DNA に収められることを理解する。 細胞が分裂する際、DNA が合成・分配されることを理解する。 DNA の遺伝情報は mRNA に写し取られた後、アミノ酸配列に置き換えられてタンパク質と成ることを理解する。 		
生物の体内 環境の維持 (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境 体内環境の調節 免疫 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓の働きにより体液は循環し、肝臓や腎臓は体液の成分を一定に保つはたらきをしていることを理解する。 体内環境は自律神経やホルモン系により保たれることを理解する。 体内には異物を認識し、排除するしくみがあること理解する。 		
生物の多様 性と生態系 (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> 植生の多様性と分布 気候とバイオーム 生態系とその保全 	<ul style="list-style-type: none"> 地球上には森林や草原など、様々な植生が見られる。これらは長期的視点で見ると移り変わっていることを理解する。 気候降水量の違いで様々なバイオームが存在することを理解する。 生態系では物質循環・エネルギーが移動のあることを理解する。また生態系は一定の幅の中で変動することを理解する。 		
細胞と分子 (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の構造と働き タンパク質の構造機能 タンパク質と細胞 	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の構造とはたらきを理解する。また細胞活動はタンパク質等の分子の働きと密接に関係することを理解するとともにタンパク質の構造と機能を理解する 		
代謝 (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> 代謝とエネルギー 呼吸と発酵・光合成 窒素同化 	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動の本質は化学反応でありエネルギーが入り出す事を理解する。この際代表的な化学反応である呼吸・発酵・光合成の概要と窒素同化について理解する。 		
遺伝情報の 発現 (2年次)	<ul style="list-style-type: none"> DNA の構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー 	<ul style="list-style-type: none"> DNA の構造を理解し、そのことと関連付けて複製方法を理解し正確な複製が可能であることを理解する。DNA の情報からタンパク質が作られる過程を理解し、物質による制御のあることを理解する。さらに生命のしくみを利用した技術の概要を理解する。 		
生殖と発生 (3年次)	<ul style="list-style-type: none"> 減数分裂と染色体 有性生殖の過程 発生の過程としくみ 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝のしくみを減数分裂における染色体の分離と細胞接合により説明できることを理解する。 動物・植物の配偶子形成の過程を理解する。 動物・植物の受精卵の変化の過程と仕組みを理解する。 		
動物の反応 と行動 (3年次)	<ul style="list-style-type: none"> 刺激の受容 神経系 動物の反応 	<ul style="list-style-type: none"> 刺激を受容する代表的構造、神経系を構成する細胞であるニューロン、および効果を示す構造の働きを理解する。神経系および神経系の働きの結果生じる動物の行動のタイプと特徴を理解する。 		
植物の環境 応答(3年)	<ul style="list-style-type: none"> 植物の反応と環境 植物の反応と調節 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の反応(成長、発芽、成熟、休眠等)に対する調節の仕組みを植物ホルモン・感光性物質と関連付けて理解する。 		
生物群集と 生態系 (3年次)	<ul style="list-style-type: none"> 個体群の構造と維持 生物群集とその変動 生態系 	<ul style="list-style-type: none"> 生物個体は他個体からの影響を受けて変動することを理解する。個体群の変動の特徴を種内・種間の個体同士の影響のタイプから理解する。各種生物を物質・エネルギーとの関係から理解する 		
生命の起源 と進化 (3年次)	<ul style="list-style-type: none"> 生命の誕生と変遷 進化の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 生命誕生の過程とその後の変化の概要を理解する。 進化の証拠と仕組みに関する説を理解する。 		
生物の系統 (3年次)	<ul style="list-style-type: none"> 生物の系統 生物の分類 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の系統を考える各種根拠を知る。 現在の代表的生物分類とその長所短所を知る。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 理数地学	1	2	地学基礎改訂版(啓林館)	ニューステージ新地学図表(浜島書店) センサー地学基礎改訂版(啓林館)
科目の概要 と目標	地学的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対して探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
固体地球と その変動	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球 ・活動する地球 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動する地球に関する探究活動を行い、その学習内容の理解を深めに、地学的に探究する能力を高める ・プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。 ・火山活動と地震の発生のしくみについて理解する。 		
移り変わる 地球	<ul style="list-style-type: none"> ・地球史の読み方 ・地球と生命の進化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。 ・古生物の変遷と地球環境の変化について理解する。 		
大気と海洋	<ul style="list-style-type: none"> ・大気構造 ・太陽放射と大気/海水の運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気構造と地球全体のエネルギー収支について理解する ・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解し、日本で見られる季節の気象について学ぶ。 		
宇宙の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系と太陽 ・恒星としての太陽の進化 ・銀河系と宇宙 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生と地球の形成について観察、実習などを通して探究し、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。 		
自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境 ・火山地震災害 ・気象災害 ・人間生活と環境変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の変化を科学的に考察する。 ・日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察する 		
課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で課題を設定し、研究または調査による報告書を作成する。 			
			備考 <ul style="list-style-type: none"> ・立山実習による自然観察を有効に教材内容として取り入れる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	使用教材
理数・ 課題研究	理数科学科 2年	1	How to Research 2020（学校作成）
科目の概要 と目標	科学及び数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
単 元	学習内容	到達度目標	
課題の設定	特定の自然の事物・現象に関する研究、自然環境の調査に基づく研究、科学や数学を発展させた原理・法則に関する研究より研究課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な発想により、解決の見通しが立つ課題を設定できる。 研究グループ内で課題の設定に関する討論ができる。 	
課題研究 の計画	図書室、情報ネットワーク等を活用し、課題研究方法、日程を計画する	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決のための情報を適切に入手できる。 研究グループ内で、研究の進め方について討論し、各自が研究内容を理解する。 	
課題研究	理数数学、理数理科の内容と関連させ、仮説の設定、実験による検証、データの分析解釈、推論などの探究方法を用いて課題研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題について、仮説を立ててその仮説を適切な実験や理論により検証できる。 結果の集計や処理などに当たって、コンピュータを効果的に活用できる。 	
課題研究 の発表	10月の中間発表、12月の研究発表をポスター発表により行う。大学研究者より専門的な意見をもらう。	<ul style="list-style-type: none"> 研究内容を適切にわかりやすく伝えるポスターを作成できる。 発表により論理的な表現力を高め、自主的な質疑応答により理解を深める。 	
報告書 の作成	研究報告書を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な思考力と表現力により、「序論」「本論」「結論」からなる報告書を作成できる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材(副教材)
英語 総合英語	2・3	8	NEW EDITION UNICORN English Communication 2 (文英堂) NEW EDITION UNICORN English Communication 3 (文英堂)	教科書準拠予習ノート 教科書準拠ワークブック
科目の概要 と目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。			

《第2学年》

単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標
Lesson 1 Accessibility For Everyone	視覚障害を乗り越え、国内外で活躍する浅川智恵子さんの半生	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイを読み、筆者がどのような人であるかを理解し、簡潔に紹介できる。 ・エッセイの中で筆者が重要だと考えていることを読み取り、簡潔に説明できる。 ・エッセイの主題について自分の考えや意見を述べるができる。 ・発展的な比較表現、S + V (be 動詞) + C (that 節)、無生物主語を理解する。
Lesson 2 The Problem We All Live With	アメリカ、公民権運動。白人の小学校に入学した女兒ルビーが語る事件とその後の人生	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題の当事者によるエッセイを読み、筆者がどのような人であるのかを理解し、説明できる。 ・過去と現在が対比的に述べられたエッセイから、その変化の理由を理解できる。 ・関心のある社会問題について、複数の視点を客観的に説明し、自分の意見を発表できる。 ・S + V (be 動詞) + C (= 分詞)、to 不定詞の受動態、倒置を理解する。
Lesson 3 Eat the "Ugly" Carrot, Save the World	見た目が悪いという理由で捨てられる野菜・果物から、環境への影響・食生活あり方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・述べられている問題と筆者の考える解決策を理解し、説明できる。 ・筆者の意見への同意または反対意見を、句泰的な理由や例に基づいて発表できる。 ・「譲歩」の表現、to 不定詞、「同格」の表現を理解する。
Lesson 4 Through the Eyes of Imagination	想像力を働かせて固定観念の枠を越えて物事を多面的に見る	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真の説明を読み、内容を理解し、図や写真の見方を簡潔に説明できる。 ・1 つのものに対して、複数の見方や考え方ができる例を挙げ、異なる視点の背後にある理由を説明することができる。 ・to 不定詞、強調構文、否定表現を理解する。
Lesson 5 More Than a Baseball Team	カナダ、日系移民野球チーム「バンクーバー朝日」の栄光と悲話	<ul style="list-style-type: none"> ・実在した過去の活動を描写した文章を読み、人や事件についてどのようなことが起こったのかを理解し、説明できる。 ・関心のある実在した組織や個人の活動について説明し、自分の考える その活動の重要性を説明することができる。 ・seem to do と it seems that 節、分詞構文の完了形、独立分詞構文を理解する。
Lesson 6 What Is Uniquely Human?	チンパンジーの驚くべき能力とヒトの想像力	<ul style="list-style-type: none"> ・2 つのものを対比させて類似点と相違点を説明する文章から、情報を整理して説明できる。 ・比較可能な対象について、類似点と相違点を挙げて、対比的に説明・発表ができる。 ・先行詞のない関係詞、仮定法、to 不定詞の完了形を理解する。
Lesson 7 The Power of Choosing	日々の生活で絶えず行う「選択」の意義・重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事を時間順に描写した文章を読み、概要を理解し、簡潔に説明できる。 ・文章中のエピソード・実験の内容を理解し、それらがどのように筆者の主張を支持しているのかを説明し、具体例を交えて発表できる。 ・名詞構文、複合関係詞、S+V+ it+名詞/形容詞+that 節について理解する。
Lesson 8 The Sagrada Familia and the 3-D Printer	3 D プリンターはサグラダ・ファミリアの工期短縮に一役買えるか	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な建造物についての文章を読み、その特徴やどのように作られてきたのかを理解し、時間順にまとめて説明できる。 ・関心のある建造物について、その特徴や建造の経緯をまとめ、発表できる。 ・分詞構文の否定形、with...分詞、There is [are] 分詞などを理解する。
Lesson 9 The Future of AI	AI はヒトを越えるか	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術に関する文章を読み、現状で出来ること出来ないことの区別をして、今後の課題を説明できる。 ・科学技術の現在の進展の程度をまとめ、発表ができる。 ・未来の表し方、動名詞の受動態・意味上の主語、to 不定詞の否定形を理解する。
Lesson 10 Just Enough	江戸時代のリユース、リサイクルから学べ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に関する文章を読み、その問題の重要性、提示されている解決策、過去と現在の対比(具体例を含む)を紹介し、自分の意見と可能な解決策を発表できる。 ・「条件」の表現、動名詞の否定形・完了形、仮定法現在を理解する。

《第3学年》

単元	学習内容	到達度目標
Unit 1 Creativity L1 Blocks to Solving Problems L2 Ideas Aren't Cheap	『創造性』 思考の壁 アイディアはお金に換えることができない	<ul style="list-style-type: none"> ・9点パズルの解き方に関する文章を読み、難問に直面した時、自分たちの能力を生かすためには、考え方の枠を外す必要があるということを理解する。 ・日頃当たり前だと思っていることが実はそうではないこともあるということを、具体例を用いて英語で説明できる。 ・入学試験の出題形式の変化に見られる「自分たちが持つべき創造性」についての文章を読み、理解し、自身の生活の中で想像力を使う場面はどんな時かを考え、英語で発表する。
Unit 2 Future Society L3 We're Being Watched L4 How Robots Are Taking Over the World of Work	『科学技術の発展と人間』 監視社会 ロボットが仕事の世界を征服しつつある？	<ul style="list-style-type: none"> ・ロンドンの監視カメラについての文章を読み、より安全な社会を作るためには監視されることが良いのか、それとも問題があるのかについて考える。 ・日本が監視社会になるとしたら、どんなメリット・デメリットがあるかについて英語で話し合う。 ・AIの発展によって様々な分野で人手が今ほど必要でなくなると言われている現状について理解し、今後必要となる人間の能力とは何かを考える。 ・科学技術が、法律や金融、接客サービスにおいてもたらしている問題について調べ、英語でまとめ、発表できる。
Unit 3 Foods Across Borders L5 Rediscovering Washoku L6 Lessons from Okinawa: How to Live a Long and Healthy Life	『日本の食文化』 和食、再発見 沖縄の食文化から学ぶこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコ無形文化遺産に登録された和食について英語で理解を深める。 ・自分たちが和食を正しく理解し、伝統をきちんと引き継いでいるかについて英語で自分の考えをまとめ、発表できる。 ・外国人から見た沖縄の長寿と健康の秘密を、文章を通して理解する。 ・沖縄の食文化同様、日頃の運動、社会との関わり等、沖縄の生活様式についても理解する。 ・若者の食生活についての現状と問題点を提示し、英語で発表できる。
Unit 4 Our Planet L7 Luminous Fog Hides the Milky Way L8 The Birth of the Aralqum Desert	『地球問題』 光のもや、天の川をかくす アラルクム砂漠の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口の3分の1以上の人たちが、晴れた晩にも天の川を見ることができない現状とその理由を理解する。 ・光害をはじめ、現在地球規模で抱える環境問題について、英語で発表できる。 ・中央アジアに新たに生まれた砂漠について書かれた文章を通して、砂漠が誕生するに至った経緯について理解する。 ・天然資源が枯渇することによって地球環境や自分たち自身に与える影響について考えをまとめ、英語で発表ができる。
Unit 5 Relationships L9 The Power of Introverts L10 How to Fall in Love with Anyone	『人と人の関係の大切さ』 内向的な人々の力 恋に落ちる方法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力が高いことが素晴らしいと言われて久しいが、内向的であることにも価値があるということを文章を通じて理解する。 ・自分を見つめ、外向的な人間であるか内向的な人間であるかを考え、英語でそれについてまとめることができる。 ・心理学者による、必ず恋に落ちるとされる実験とその結果わかることを、文章を通じて理解する。 ・筆者とは違った心理的な方法を英語で提示し、発表できる。
Unit 6 Critical Thinking L11 Don't Be Deceived: Evaluating Numbers L12 Language and the Shape of Thought	『情報社会』 数字を見極めよう 言語と思考の形	<ul style="list-style-type: none"> ・危うい情報が氾濫する中、数字は信頼できるものと考えがちだが、実は人々を操作できるということを文章を通じて理解する。 ・グラフを使ってどのように情報操作ができるかということを考え、英語で発表できる。 ・言語が思考に影響するということはよく言われてきたが、本当にそうなのかということを文章を通じて考える。 ・言語というものが、思考に影響を与えるかどうかを例を挙げて考えて、英語で発表することができる。
Lesson 7 Sustainability L13 The Future L14 Is "Eco-friendly" Really Green?	『持続可能な社会』 気候変動の問題 「エコ・フレンドリー」商品とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの元副大統領ゴア氏が、現代の環境問題についてどう述べているかを理解する。 ・再生可能なエネルギーの使用について自分の意見をはっきりさせ、考え得る利点や欠点について英語で発表できる。 ・「エコ・フレンドリー」商品について、その概要と問題点について文章を通じて理解する。 ・「環境に優しい」ということはどういうことなのかについて、自分の考えを英語でまとめ、発表できる。

教科・科目	対象学年	単位数	使用教材(副教材)
異文化理解	2	2	Active Reading[改訂版] 自主教材
科目の概要 と目標	英語を通じて、外国の事情や異文化について理解を深めるとともに、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。		
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標	
UNIT 1 ～ UNIT 3	<ul style="list-style-type: none"> • The Ocean Bottom • Cloning Technology • Euthanasia 	<ul style="list-style-type: none"> • 「海底の生物たち」についての英文を読み、海底に生息する動植物は想像以上に多様で、独特であることが理解できる。 • 「クローン技術」についての英文を読み、この技術と倫理観と治療に使うことの可能性を巡る議論について考える事ができる。 • 「安楽死」についての英文を読み、一般的に、安楽死には2つの種類があることを理解し、考えることができる。 • 英文の内容を聞き取り、正しく理解する。 • 自分の意見を持つ。 • 自分の考えを正しい英語で表現できる。 • 文法事項を理解して活用できる。 	
UNIT 4 ～ UNIT 6	<ul style="list-style-type: none"> • Social Attitudes towards Alcohol Consumption • Braille Education • College Education 	<ul style="list-style-type: none"> • 「アルコールに対する社会解釈の違い」についての英文を読み、アルコール消費に対する社会の姿勢は、国によって大きく異なることを正しく理解する。 • 「点字教育」についての英文を読み、様々なコミュニケーション方式があることを理解する。 • 「入試論文」について書かれた英文を読み、大学教育についての理解を深める。 • 自分自身の身近な経験からさまざまな異文化体験について考えてみる。 • 自分の考えを正しい英語で表現できる。 • 英語で意見を交換することができる。 • 文法事項を理解して活用できる。 	
UNIT 7 ～ UNIT 9	<ul style="list-style-type: none"> • Denmark, the Happiest Country in the World • Giving Loans to the Poor • A PlayPump Can Change a Village 	<ul style="list-style-type: none"> • 「世界一幸福な国、デンマーク」について書かれた英文を読み、異文化理解を深める。 • 「貧者を助ける銀行」について書かれた英文を読み、経済についての理解を深める。 • 「プレイポンプ」という南アフリカの生活を変えた給水ポンプについての英文を読み、異文化理解を深める。 • さまざまなテーマについて自分の考えを深めて、英語で意見を交換し、相手の意見も共有することができる。 • 文法事項を理解して活用できる。 	
UNIT 10 ～ UNIT 12	<ul style="list-style-type: none"> • Hybrid Cars • Eco-Friendly Edo • The Importance of Kenyan Tree Planting 	<ul style="list-style-type: none"> • 「ハイブリッドカー」についての英文を読み、正しく理解する。 • 「エコな江戸」についての英文を読み、江戸時代の人々が非常にリサイクル上手であったことを理解する。 • 「ケニアの植樹活動」についての英文を読み、貧しい女性たちをまとめ上げて、グリーン・ベルト・ムーブメントを設立したワンガリ・マータイ博士の活動を理解する。 • 内容を聞き取り、正しく理解する。 • 科学の面から地球規模で様々な問題に対する自分の意見を持ち、英語で表現することができる。 • 文法事項を理解して活用できる。 	
UNIT 13 ～ UNIT 16	<ul style="list-style-type: none"> • Children Living in Garbage • Child Soldiers • A Japanese Doctor in Afghanistan • A Challenge in a Slum 	<ul style="list-style-type: none"> • 「ゴミ山で暮らす子どもたち」についての英文を読み、正しく理解する。 • 「子ども兵たち」についての英文を読み、子ども兵の現状を理解する。 • 「アフガニスタンで活躍する日本人医師」についての英文を読み、平和を手に入れるためには、相互扶助を行う努力が必要だと理解する。 • 「スラム街での挑戦」についての英文を読み、人生について考える。 • 内容を聞き取り、正しく理解する。 • 時事問題を含め、さまざまな問題について自分の考えを英語で表現し、それについて複数人で話し合うことができる。 • 文法事項を理解して活用できる。 	